



- 発行 -
青森西高校
生徒部
R3.7.20
第 4 号

吹奏楽部 引退覚悟の演奏から県大会出場権を獲得！

「お疲れ様でした。最後のコンクール、3年生はこれで引退ですね。」

7月9日、地区大会での演奏を終え、楽器をトラックに積む順番をみんなで待っている間、いつも楽器の運搬を手伝って下さっている保護者の方にそんな労いの言葉をかけていただきました。部員も顧問も全員、翌日の文化祭の演奏、13日の野球応援に気持ちを切りかえはじめていました。30分後、学校に到着した時、生徒たちは自分たちが25日に行われる県大会出場を決めたことを知り、飛び跳ねて喜んでいました。



これまで吹奏楽部の隣には、いつも「あきらめ」がいました。「どうせ、地区大会で引退」。顧問として関わった4年間、そんな空気が吹奏楽部にはありました。今回も、出場した部門で県大会に出るためには13チーム中4位までに入らなければならず、なおさらそう思っていたのではないのでしょうか。吹奏楽部はもう5年以上、顧問に吹奏楽の指導者、指揮者がいないため、外部のコーチに依頼して、技術指導や大会での指揮をしていただいていた。楽器もだいぶ歴史を重ね、修理をしながらの使用です。全てがベストな状況ではない中ですが、今年の吹奏楽部の部員たちは、置かれた状況で、自ら考え行動して、自分たちが持てる限りの力を尽くしたからこそその結果だと思っています。自分たちだけのことを考え、無いものを数えるのではなく、色々な人に支えられて部活動ができる、という与えられた環境に感謝して、これからもあきらめずに踏ん張れる部へと成長し続けて欲しいと思っています。

(文責：吹奏楽部顧問 長嶺)

野球部 善戦するも勝運に恵まれず惜敗

青西ナインは序盤からこれまで培った技術力、精神力を大いに発揮し、先発小笠原(浪岡中出)の好投に加え、打線でも積極果敢に攻め着々と加点した。しかし、相手の古豪八戸工業もそれに負けじと食らいつき、双方一歩も譲らぬ一進一退の戦いが続いた。終盤の8回裏には2点を取られ5-5と同点に追いつかれたが、続く9回表に3点を返し8-5と突き放し勝負あったかに見えた。しかし9回の裏、小笠原の制球が少しずつ乱れはじめ、8-6の二死満塁というピンチを迎えた。この大勝負に固唾をのんでその行く末を見守る中、小笠原が放った渾身のストレートを狙い打ちされ、その打球は容赦なく右中間に舞い上がり、白熱の好試合に終止符が打たれた。

終わりは新たな始まりでもある。この悔しさを決して忘れることなく、来夏こそ青西ナインに勝利の女神が微笑むことを願っている。



青西高祭 ～一陽来福～

7月10日(土)、青西高祭が開催されました。さまざまな展示や企画を実施するにあたって、我慢を強いられる部分が多くありましたが、無事に終わることができました。文化部の展示や発表、クラスCM、ゴミ箱製作、黒板アート。学級旗等、皆さんの行事に対する熱いエネルギーを感じました。生徒の皆さん、生徒会の皆さん、本当にお疲れ様でした！

